

# 東日本大震災ルーテル教会救援

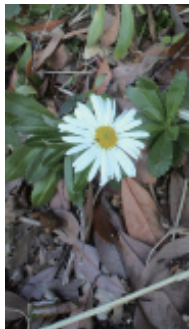
## Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.12

2012年10月度 活動報告 (2012年11月22日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている  
皆さまに心より感謝いたします。



宮城県漁協石巻地区支所の支援開始を受けて、牡鹿半島や田代島の港の視察に出向きました。石巻市北上町の町花であるハマギクに会ったり、茶色く色づきはじめて木々と美しい海の色のコントラスト、浜で淡々と働く人たちの静かな息づかいなど、石巻の風土と暮らしの豊さに触れるひとときでした。一方で、港周辺では震災の傷跡がまだまだ生々しく、水没した道路には大量の貝がくっつき、海の一部のようになっています。自然のたくましさを感じると共に、改めて震災の日のことに思いを馳せました。10月の活動を報告いたします。



### 【となりびと】2011年の活動と今 ～救援活動開始から1年を過ぎて



「みんなの楽しみだった、トンボ玉を作る器具が全部流されてしまいました」そんな一言からはじまった北上トンボ玉倶楽部とのご縁。津波の犠牲となったメンバーの方がトンボ玉を編みこんでミサンガを作っておられました。そのミサンガ作りを残った人たちの心の支えとして行なうため、2011年10月1日に、にっこり仮設団地の集会所で講習会が開催されました。以後、定期的に手しごとの



<http://www.facebook.com/nikkoriteshigoto>

時を持つようになり、作品の質も向上し、「にっこり手しごと村」という名称で、作品作りを行なっています。日々元気に過ごしていくために、継続的に手を動かすこと・仲間と集う時間・販売によって多くの方とつながる喜びが必要とされています。(押野)



### 【となりびと】石巻健康生活復興フォーラムに参加しました

となりびとのスタッフは、現状を把握するために、現地で行われる震災関連のフォーラムや講演会などにも時々参加しています。10月29日には、医師らが中心になって支援活動をしている石巻医療健康生活復興協議会が主催する石巻健康生活復興フォーラムに出席してきました。テーマは被災者の現状と課題といったもので、市や県の行政機関、在宅被災者やみなし仮設で暮らしている被災者、仮設住宅で暮らす被災者をそれぞれサポートしている団体等から報告がありました。

被災者間での復興格差や先が見えない不安などによる精神的なストレス、生活環境の変化に伴う身体機能の低下などなど、被災者の中にはさまざまな問題・困難を抱えている方がいるとのことでした。様々な支援団体等と連携しながら被災者を支えつつ、その力を引き出しながら自立を促していくことがこれからも必要です。(佐藤)



### 【ご注文受付中】クリスマスカード



昨年、大好評いただいた気仙沼の女性の手作りプロジェクト「KEPPAPPE (けっぱっぺ)」のクリスマスカードが、デザインも一新して再登場です。お早めにご注文ください。

### 【各地でのご協力】文化祭・バザーシーズン



↑あいにくのお天気の中でも、ほぼ完売とのこと。

日本福音ルーテル東京池袋教会で、気仙沼・石巻の製品を販売してくださいました。また聖霊学園高校の皆さんは文化祭の売り上げでお菓子を送ってくれました。

夏のボランティアに続いてのご協力、感謝です。↓

